



はじめに

この度、本村は平成18年度を初年度とする10年計画であります第4次原村総合計画を策定致しました。

今、地方自治体はかつてない危機に面しております。それは言わずと知れた国の財政難に端を発した平成の大合併の動きと、それに伴う三位一体の改革という地方財政の縮小です。多くの町村は先行き希望を失い、市町村合併へと応じました。今後もさらに応じるものと思われまます。

このような中で本村住民は、建村以来130年の歴史と村づくりの矜持と諦観を保ち、更に独立、自主の精神の下、自立して特徴ある理想郷の建設の道を選択しました。

過去、幾多の先人たちが築いた基礎の上に、3次にわたる総合計画で構築した本村の村柄^{むらから}は着実に品格と誇りに満ちたものであります。私たちは第4次総合計画で更にこの美風を推し進め、誰もが「住んでみたい村、住んでよかった村」の実現に邁進しなくてはなりません。

この計画は21世紀の社会情勢に対応して、環境の維持発展、自然との共生を図る住環境を子どもたちに伝え、独自の文化を醸成し心豊かな子どもたちを育てること、人々が助けあい子どもからお年寄りまで安心して暮らせる福祉と健康の行きとどいた村、「原村ブランド」を創出し、都市と農村の交流をはかる元気な村づくりの実現をめざしています。その理念として、「環境にやさしい村」、「日本一元気な村」、「産業連携と交流の村」、「自律と協働の村」を掲げ、将来像を「人も地域も輝く緑豊かな原村」としました。住民の方々一人ひとりが力を合わせ、これらの実現による良い村づくりにご協力いただけますよう深くお願い致します。

おわりに、この計画策定にあたりまして、貴重なご意見、ご提言をいただきました住民の皆さまや各種団体をはじめ、慎重なご審議を賜りました原村振興計画審議会、原村議会の皆さま、並びにご関係の方々から心から御礼申し上げます。

平成18年3月

原村長 清水 澄